京都市立芸術大学音楽学部同窓会

真声会

会報 第59号

2014年12月1日発行

音楽表現をクリエイトすることの大切さ
教育内容を深め、改善していくことの大切さ

真声会会長　大村　益雄（１期・作曲）

とても素晴らしいソロ演奏をする子どもさんに、ときどき出会うことがあります。しかし、子どもさん達の合同演奏で、感動を覚える演奏会や発表会に出会うことは、数少ないと思います。

京都子どもの音楽教室の「創作オペレッタ」の演奏会が、２年に１回、行われています。この演奏会を、最近、私は、「音楽ってなんと素晴らしいものか」と思い、わくわくしながら聴かせて頂いております。同時に、その音楽表現内容に、深く感動を覚えているのです。個々の出演者の演奏レベルが、凄く高いという訳ではありません。しかし、この演奏会から醸し出される音楽内容に、強い情熱と豊かな音楽性を感じ取ることができるのです。そこに存在する音楽の心が大切です。表現しようとする意欲に、聴衆のみならず、出演している生徒さんも、胸をときめかせているのだと思います。そして、私は、そこに音楽教育の高い価値を見いだしているのです。

最近の「創作オペレッタ」演奏会は次の通りです。

2008年　第20回　ハッピーバースデー
　　命かがやく瞬間
2010年　第21回　セロ弾きのゴーシュ
2012年　第22回　四季　ヴィヴァルディとピエタの娘たち
2014年　第23回　60周年記念　青山財団助成
　　僕たちロシア五人組

私は、過去から、何度か授業内容を見せて頂きました。ここでは、既製品のオペレッタを演奏するのではなく、子どもさん達と共にオペレッタの題材選びを行い、その意味や社会性をお互いに学びながら、ストーリーへの理解を深めます。そして子どもさん達が分担して、先生方の協力を得ながら各部の作曲を行い、出演する子どもさんは、自分の作曲したパートを歌うなど、創作した曲が実際に舞台に乗って演奏されますから、子どもさんの情熱も当然高まっていくことになります。この指導プロセスを創り上げてこられたのが、ここで教えておられる先生方です。

このほか、京都子どもの音楽教室は、毎年、秋に「定期演奏会」、春に「スプリング・コンサート」を催しています。これらの演奏会も常に改善されています。ご父兄が、友人や知人に声を掛けて聴きに来られるので、回を重ねる毎に聴衆が増え、長時間の演奏にもかかわらず、途中でお帰りになる方はほとんどおられません。多くの聴衆が音楽の価値を感じて、楽しんでおられるということになります。

京都子どもの音楽教室は、１９５３年９月に創設され、昨年、６０周年を迎えました。ソルフェージュやリトミックを主体とし、合唱、合奏など、アンサンブルの基礎教育に加えて、希望者には、作曲の指導を行っておられます。音楽表現をクリエイトする能力を、総合基礎教育の中で培っているのです。現在、京都堀川音楽高校の施設の中で授業が行われていますが、組織は、母校、京都芸大音楽学部の音楽教育研究機関であり、室長は音楽学部長です。特別研究員として、多くの真声会会員が携わっておられ、欧米と比較しても、かなりレベルの高い音楽教育が行われています。それは、直接指導に当たっておられる、全ての特別研究員

の資質の高さに負うところが大きく、その成果が着実に現れてきているからだと思います。

さて、この「創作オペレッタ」は、４歳から１５歳位までの、２００名余りの生徒さんが、何らかの形で参加し、舞台上で衣装を付けて、歌いながら立ち居振る舞いをする出演者、合唱をする生徒さん、弦楽合奏で舞台進行を盛り上げる生徒さん、それを裏方で支える多くの先生方、舞台衣装を準備されるご父兄方、全ての人の努力と音楽力が総合された発表会なのです。出演した子どもさん達にとっても、その貴重な体験は一生涯、心の底に残ることでしょう。

今、世界を見回したとき、政治的にも、経済的にも、不穏な情況が垣間見られます。人が生きていく上で、音楽は精神生活のレベルを高め、心の支えとして大切です。真声会も現在、組織改善に取り組んでいます。「京都子どもの音楽教室」は、このような社会情勢の中で、様々な改善に取り組み、音楽教育の成果を上げてきておられると思います。機会が有れば、これらの演奏会、発表会に、是非一度足を運んで頂けたらと願って、私の思いの一端を述べさせて頂きました。

真声会　臨時総会のご案内

今回の臨時総会では、別冊子に掲載されています会則改正案について、会員みな様のご意見を伺い、議論を深めて採択の方向に進めて参りたいと思っています。今回、改正案の主な点は大村会長が述べておられるように、

1）組織を明確にして、会員のみならず、幅広い社会全体の意見を反映しやすくする。
2）方針を決める部署と、事業を推進する部署とを組織的に独立して、運営を効率化する。
3）基本となる真声会会則と、それに付随する会則運営要綱とに記述を分けて、今後の真声会運営に誰もが参加できるように客観化する。

以上ですが、とりわけ新たに事務局を設け、真声会の運営が現代社会が要求するニーズに沿って、スピード感を持って臨みたいと思います。

真声会は来年、会創設 60 周年を迎えます。当初は会員数も少なく、細々とした活動でしたが、大学創設から 62 年が経過し、大学も短大から 4 年制、更に大学院、博士課程まで広がり、会員数も 3200 名を超え、名実ともに日本の音楽文化を支える団体となりつつあります。真声会創設 60 周年を迎えるにあたり、会則に謳われている「～音楽を通して社会の発展に寄与することを目的とし～」を今一度胸に刻み直したいと思います。

会員のみな様、下記の臨時総会に、万障繰り合わせ、是非ご出席下さるようお願い申し上げます。

記

日　時　　２０１５年1月１８日（日）１４：００～１６：００

会　場　　ウィングス京都セミナー室Ａ
（京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町 262、℡ 075-212-7490、大丸の北側）

議　案　　真声会会則改正について

○同封のハガキにて、出欠を２０１４年１２月２２日必着でお知らせください。
○ご欠席の場合は、委任状の提出をお願いいたします。
○臨時総会についてのお問い合わせは事務局まで。

会費納入のお願い及び、銀行引き落としについて

2014 年度（平成 26 年度）の会費未納の会員の方には、この会報に、振込用紙を同封しております。会費は、年会費 3,000 円、又は、終身会費 50,000 円となっております。振込用紙が同封されている方は、恐れ入りますが、会費をお納めいただきますよう、お願いいたします。尚、会費納入状況につきましては、封筒の宛名面に記載されておりますのでご確認ください。

また、今年度を持ちまして、年会費の銀行口座からの自動引き落とし（銀行振込）を、終了させていただく運びとなりました。ランニングコストがかかり過ぎていること、引き落とし失敗例が多くなってきたこと、近年の卒業生の銀行自動引き落とし（銀行振込）希望者が少ないことなどが終了の理由です。コンビニでの納入が出来るよう、検討を重ねてまいりましたが、現在の様々な状況を鑑み、導入を見送ることとなりました。

来年度からの年会費に関しましては、皆様、払込取扱票にて、郵便局で入金していただくことになります。お手数をおかけすることとなりますが、ご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。

真声会本部役員一同

真声会
事務局からのお知らせ

ホームページをリニューアルしました！
後援申請書のダウンロード
住所変更の WEB での受付が出来ます。

http://www.shinseikai-kcua.net/

以前より見やすく、充実した内容のホームページができました。また、後援申請書のダウンロードや、住所変更の受付もしております。

これまで通り、教員・演奏者等の募集情報や、後援演奏会情報も随時更新しております。どんどんアクセスして下さい。

同窓会事務局は年中無休で
稼働しています！

電話：080-6185-4494
メール：shinsei@kcua.ac.jp

同窓会事務は現在、真声会役員が電話対応や、メールの対応を行なっております。お電話が繋がらなかった場合は、留守録を残しておいて頂きましたら、後ほどご連絡を差し上げます。お名前とご連絡先を残して頂きます様、よろしくお願い致します。なお、メールは、随時受け付けております。

同窓会業務は、同窓会室から同窓会事務局へと担当が変わりました。
より会員の皆様が情報にアクセスしやすいよう、動いてまいります。
真声会に対するご意見、ご要望があれば、事務局までどうぞ！

《会員だより》

今号の会員だよりには 12 名の会員の方より寄稿いただきました。
この場をお借りして御礼申し上げます。

11 期ピアノ　小林　浩子

音短大を卒業して、早 50 年が経ちました。現在、主婦業の傍、教会のオルガニストとアマチュアのオペレッタグループの伴奏とコーチを、かれこれ 20 数年やっております。教会で弾いているリードオルガンはピアノと奏法が違い最初は苦労しましたが、専門家のレッスンを受け始めてからは、オルガンの響きに惹かれ、楽しんでおります。

音短大を卒業後、アメリカに留学し 8 年間滞在しましたが、最初の 3 年間は学生として勉強し、卒業後は大学で教えたり、演奏したり、貴重な体験をする事が出来ました。帰国後は育児などで忙しく、数年は音楽から遠ざかっていました。私の兄、姉（3 年前に他界）夫や娘も音楽家で、何度か共に演奏する機会に恵まれた事は、今も佳い思い出となっています。

現在の我が家のニュースは初孫の誕生です。1 才半の男の子の孫は、家に来ると殆ど一日中なっている音楽に合わせて、小さな体と両手を一杯動かして楽しんでいます。このままずっと音楽好きの青年に育ってくれたら嬉しいな、と思っています。

11 期声楽　瀬野　光子

50 年前の “ 根っ子 ”

タクシーに乗って「京都音大まで」と告げると、大抵の運転手さんと「どこにあるの？」「聖護院の武徳殿です。」「あっ、わかりました。」という会話をしなければならなかった時代を懐かしく思い出します。“ 京都市立音楽短期大学 ” が誕生して、僅か 11 年しか経っていないのですから仕方のないことだったのかもしれません。2 学年で 80 名という学生が、早朝から夜遅くまで練習に励んでいますと、余りにも不思議な音に吸い寄せられた観光客が、隣接する平安神宮の庭園をかき分け、練習を覗きに見えることもしばしば。目が合ってお互いにギョーッ。入学の年と卒業の年しか無い 2 年間という短い時間を楽しみながらも一生懸命に過ごしていたような気がします。そして、4 年生大学への準備期間として 2 年間の専攻科が、私の卒業する年に設置されました。友人と「行こうか。」と、両親には事後承諾で決めたことも懐かしい思い出となっています。その凝縮された “ 音大時代 ” が私の “ 根っ子 ” になっていることを近頃感じます。このような事を懐かしく思い出すということは、歳をとったということでしょうか。一生 “ 青春 ” でいようと思っているのですがー。

11 期声楽　東海　眞子

中学一、二年生の担任の先生（第一期卒の音楽の児玉淳子先生）に憧れ、私も中学の音楽教師になりたいと思い、二年生の三月から声楽を坂根豊子先生に、ピアノは徳岡房子先生に指導を受け、堀音に辛うじて入学。その後京都音大へ。とても緊張した講堂での公開試験は嫌な思い出。楽しかった臨海学習（丹後の平、間人＝たいざ）。教育学の竹内先生の原稿を清書するアルバイト（お小遣いの少ない私にはとても助かった）。エリオット先生の英会話指導（おかげで、外国人観光客への対応は今でもドギマギしないですむ）。いろいろと思い出は尽きません。卒業後はヤマハの講師をする傍ら、妙心寺衡梅院に生まれた私は宗教音楽の手伝いで、全国の寺庭婦人会で仏教聖歌を、双子に年子の息子達の幼稚園では歌とリトミックを指導し（リトミックは、大学で初めての取り組みで体育の時間に習ったものと記憶している）、また「楽しむピアノを」と思い個人的に教え、今、古希を迎え三人の孫にマゴマゴの毎日を元気に過ごしています。今思い出すと、音大は素敵な教育であったと感じております。感謝。

11 期声楽　美山　節子

11 期は丁度短大から 4 年生に移行する過渡期にありました。平安神宮に隣接した古い洋館の校舎を懐かしく思い出します。また練習室は薄いベニヤ板で区切られただけで隣の音が丸聞こえ、体育の授業は武道館の畳の上といった今では考えられないような環境でしたが、当時はそれが当たり前、練習の後唯一の暖房器具だった火鉢でお餅を焼いて皆でワイワイ食べたのも懐かしい思い出です。短大での当時の声楽はドイツリートに重点を置く伝統があり、私も専攻科（4 年生移行のため設けられた）を含め 4 年間シューベルトからヴォルフに至るまで一通り学びましたが、転機はその後に訪れました。ドビュッシーの歌曲『美しい夕暮れ』に出会った時のこと、心底琴線に触れるものがあり、今までにない世界に開眼しました。それ以来フランス詩と音楽との結びつきの綾に魅せられて今日に至っています。当時はフランス歌曲を演奏する人は少数でしたが、今では私が代表をつとめている京都フランス歌曲協会のメンバーは 120 名を越え、年 5 回の京都のあちこちでのコンサートは毎回満員の聴衆を迎えています。フランス歌曲には種々様々な詩があり、老若男女それぞれに相応しい曲が数知れずあります。興味のある人は是非京都フランス歌曲協会のサイトを覗いてみてください。http://kyofutsu.com

46 期ヴァイオリン　三瀬　由起子

私は延べ 10 年も京芸に通ったこともあり、その在学中には 1 年生で北海道演奏旅行、 4 年生でプラハ演奏旅行、大学院の 2 年生でドイツ演奏旅行と、なんとも旅行運の良い学生時代でした。プラハではスメタナホールで演奏させてもらいましたし、ドイツではヤーン先生による 1 週間のレッスンを経て 5 回演奏会の機会があり、クラシックの本場で演奏できたことは貴重な経験でした。そのドイツの演奏旅行には当時の先生方である岸邉先生、久合田先生、上村先生が順番にいらして下さったのですが、泊まっていた宿舎の食事が連日茶色いドイツ食で、後からいらした先生方が気をきかせて大量のおにぎりを差し入れに持ってきて下さったことや、みんなで力を合わせドイツで盛大に上村先生のお誕生日会を開いたことは今でもよく覚えています。良い演奏をするためにはもちろん、何をするにもメンバーが一つのチームとして協力し合う大切さが身に付いた気がします。今は生徒たちが大学にお世話になっているご縁もあり、現在の大学の様子を聞かせてもらうことがよくありますが、時代とともに変わりゆく部分とともに、受け継がれている部分を感じます。また、それらがうまく混ざり合っていって今後の発展につながっていってほしいと思います。

46 期声楽　塚本　知香

現在の活動　―マレーシアにて―

大学院修了から約 10 年が経ちました。現在、夫の転勤によりマレーシアで暮らしています。日本で生活していた頃は細々とではありますが、同期と演奏会を開いたり、京芸出身者を中心に結成した声楽アンサンブルグループでの活動を行っていました。さて、海外に帯同することになり「もうレッスンへ通うことも、音楽活動をすることもなくなる」と寂しく感じていましたが、マレーシアは温暖な気候、治安も比較的良好で物価も安く、取得容易な長期滞在者用のビザを発行しているため、定年後の移住先として最も人気がある国です。日本人のサークル活動も盛んで、多くの方が合唱を楽しんでおられます。そして私もご縁があり、2013 年 7 月から KL 日本人会の女声合唱団にボイストレーナーとして参加することになりました。これまでは、自分の声・歌についてだけ考え練習する生活でしたが、ここでは、人生経験豊かなご年配の方々が、いかに楽しみながら歌唱の技術を向上させてもらえるだろう…と、試行錯誤しながら音楽に接する日々です。「音大出身の駐在妻」が少ないため、私のような者でもかわいがってもらえ、とてもよくして頂いています。あと何年マレーシア生活が続くか分かりませんが、歌うことを生きがいとしているメンバーの方々と共に、南国での生活をもうしばらく楽しみたいと思っています。

47 期作曲　長岡（中西）　円香

大学を卒業後は出身地舞鶴へ戻りましたが、縁あって 4 年前より京都子どもの音楽教室で研究員としてお世話になっています。私にとって音楽教室は初体験な事ばかりでした。まず当初はたくさんの子供達と対峙することに圧倒され続けていました。思ってもみない質問が次々と飛び出します。しかし何よりも、音楽が楽しい、もっと知りたいという子ども達の欲求と、優しく的確に対応されている先生方の指導には大変勉強させられます。初めてといえば、電車通勤もそうです。高校は自転車通学、大学の時は沓掛のバス停前に住んでいましたので人生初の電車通勤となりました。東舞鶴～二条間、片道 1 時間半の特急列車です。さて、この通勤時間をいかに有意義に過ごすかについて日々考えずにはいられません。今なお、さして素晴らしい案もなく眠ることに徹していますが、それも 4 年目ともなると、座席に座った瞬間に深い眠りが訪れ、保津川を過ぎた辺りで目覚めるようになりました。そうしてエネルギーをたっぷり充電し、週に 1 度、土曜日の音楽教室へと向かうのです。

53 期フルート　朱雀　真由子

京都芸大を卒業してからはや 6 年。あの人はちゃんと生きているのか？と囁かれた事もありましたが、今はドイツのモーツァルトゆかりの地マンハイムの音楽大学のソリストディプロマ過程に在籍しながら、コンクールやオーディションに挑戦し、元気に生きています。10 月に地元の京都で念願だったソロリサイタルを開催させて頂きました。素晴らしい会場で尊敬できる共演者と一緒に演奏する事ができた事、そしてご来場下さった皆様とその瞬間を共有出来た事は、私にとって本当に幸せなひと時でした。まだまだ人間としても音楽家としても未熟な私ですが感謝の気持ちを常に忘れずにこれからも精進してまいりたいと思います。

54 期ヴァイオリン　三宅　恵

卒業してしばらく経ちましたが実家のある岡山に帰らず関西に暮らしています。人と接することや子どもが好きなので、京都子どもの音楽教室で指導をしたりしています。最初は走り回って楽器を持とうともしなかった 5 歳くらいの男の子たちに悩んだこともあったのですが、気が付いたらなぜか自分で弾けるようになっていて驚きました。1 年で別人です。子どもの力はすごいなと思います。レッスン後にいろいろお話をしてくれるのも楽しいです。最近、大学時代の友人と室内楽をしっかり勉強していこう！という話になって月に 1 回程のペースで集まるようになりました。4 人の予定を合わせるのもなかなか大変ですがとても大切な楽しい時間です。そのような仲間がいることはとても有り難いですし、続けていきたいです。お婆ちゃんになった時に楽しくヴァイオリンを弾いていれたら嬉しいです。

54 期ファゴット　桂田　菜保子

高校でファゴットに出会い、それと同時にたくさんの素敵な音楽仲間との出会い、繋がりに支えられ今もファゴット、音楽と共に生活しています。京都芸大卒業後はドイツに留学し、現在ノルウェーでファゴットを勉強させてもらっています。ドイツでは、オーケストラの研修生や契約団員として働くチャンスもいただけました。そして今住んでいる地、ノルウェーでも様々なオーケストラで演奏のお手伝いをさせてもらっています。自分がこんなにもたくさんの地でたくさんの方々に出会い、色々な経験をすることが出来るなんて思ってもいませんでした。同じヨーロッパでも国によってそれぞれ音楽との距離が違うことをいつも体で感じています。日本でももっと音楽との距離が近くなってほしい、といつも願っています。自分もそのお手伝いが出来るよう、まだまだ精進していきたいと思います。京都芸大で勉強した 4 年間は私にとってかけがえのないものです。あの頃見えなかったものが今見えるようになったり、感じたり。あの頃悩んでいたことも、音楽棟の風景と共に昨日のことのように思い出せます。今はまた違うことに悩み、新たな風景も自分の中に刻まれ、きっとこれからもこうやって音楽と共に年を重ねるのだなぁ、と感じています。いつまでも感謝の気持ちを忘れず、焦らず私らしく音楽と向き合っていきたいと思います。

54 期ピアノ　笹　まり恵

卒業してはや 5 年。月日が経つのはあっという間です。現在はソロの他、室内楽や伴奏など多方面で演奏活動をさせて頂いております。学生時代、ピアノ科のカリキュラムにはピアノ重奏、伴奏法というものがありました。課されて当たり前の様にしていたアンサンブルですが、この過程が今の自分にいかに繋がっているかと日々実感します。声楽家達のテキストに基づいた歌いまわし、各楽器ならではの奏法や慣習など、さらには奏者ごとのオリジナリティ ... そのひとつひとつに苦戦しましたが、その度に先生方や先輩方に温かくご指導頂きました。頭が柔軟なうちにそういった経験をたくさんさせて頂けた事が、今の仕事に繋がっているのだと思います。またその過程を一緒に歩んできた仲間達とは、現在も共演の機会が多々あり、いつも格別な思いで臨んでおります。" 呼吸を合わせる " 日常でも大切な事ですが、相手を尊重することを忘れず日々精進して参りたいと思います。

55 期ピアノ　松尾　紗里

高校生のときオープンキャンパスで初めて京芸を訪れ、そのとき出会った先生方や在校生の親しみやすい雰囲気がすっかり気に入った私は、学部・大学院と 6 年間お世話になりました。師事した坂井千春先生の教えは、留学中も今現在も私に影響を与え続けています。パリへ留学してすぐ､急遽南仏でのコンクールに参加することとなりました。語学はおろか、生活もままならない状態での参加。とても大変な毎日でした。でも同時に込み上げる思いがありました。それは、習い事の一つとして始めたことがこうして今日まで続き、ついに海外で挑戦する機会を得たという大きな喜びです。決して大きなコンクールではありませんが、私にとっては心に残る出来事でした。翌年そのコンクールの褒賞公演として、音楽祭や修道院でリサ イタルを行い、ヨーロッパらしい体験ができました。まだ帰国して間もないので今後については手探りの状態ですが、ソロも室内楽も丁寧に曲と向き合い活動していきたいです。

クラス会を開きました

真声会理事　金森　重裕（6 期・クラリネット）

私たちは卒業して 55 年。50 周年のクラス会を機に、これからは欠けていくだろうから毎年開催をと決めて、荒神口の KKR 京都くに荘にて「音大 6 期同窓会」と登録され、一泊（宿泊は自由）のクラス会を開いています。今年は、10 月 3 日に行いました。該当者は 41 人（男 14、女 27）のうち、物故は 4 人（男 3、女 1）ですが、今年は少し少なくて、でも 15 名（男 7、女 8）が参加しました。会は、2 月に亡くなられた青山政雄先生を偲び、黙祷をささげて始められました。そのこともあって、終始、岡崎学舎のことや懐かしい先生のお名前が次々と出てきて、いまだから言えるエピソードが飛び出したり、一期下の桧垣君が「音楽短大讃歌」（吉池浩先生作詞、安部幸明先生作曲）の楽譜を先に提供してくださって、みんなで “ 櫻かげ疎水に映し、松青く…” と歌ったり、いつもにもまして懐かしさいっぱいのクラス会となりました。宿泊組は、遅くまでアルコールを片手に、続きの話に花を咲かせました。みんなが共に学んだ 2 年間が、これまでの人生の礎となってここまで頑張って来れたことをかみしめる有意義なクラス会でした。

来年は 10 月 2 日（金）、今度は日帰り組に配慮して、12 時 30 分開会の昼食会と決めました。ご予定ください。今度の世話役は、多鹿さん、山田君です。

頻繁にクラス会を開いておられる期もあるやに聞いていますが、この会報で情報交換いたしましょう。久しく会ってないとおっしゃる期は、ぜひとも旧交を温めるクラス会の開催をお勧めします。サポートいたしますよ。

真声会　各支部活動報告

京都支部　http://shinseikai-kyoto.com/

京都支部の２０１４年度の活動は、５月の総会に続いて７月中旬に京都支部全会員に支部報と共に、３年毎に発行しています支部会員名簿を発送し、９月 14 日 (日) には府民ホール・アルティに於きまして、第 31 回プロムナードコンサートを開催しました。当日は大変多くのお客様にご来聴頂き、大盛会裡の内にコンサートを終えることが出来ました事に、出演者をはじめ、役員・関係者、ご来場戴きました皆様に深く感謝致しております。コンサートの出演者は、プログラム順に、① ソプラノ独唱：藤　美千代（43 期）/ ピアノ：辻　ゆり子（賛助出演）②ピアノ独奏：竿下 和美 (42 期) ③シロフォン：林　千賀子（5 期）＆マリンバ：佐々木 百合子（18 期）/ ピアノ：山田 葉子（賛助出演）④クラリネット独奏：柳樂 由美子（38 期）/ ピアノ：宮崎 友香子（38 期）⑤２台のピアノ：福井 真裕子（34 期）＆武田 佳美（34 期）の皆さんで、プログラムも多彩に富み、夫々素晴らしい演奏で、ご来聴頂きましたお客様から大変ご好評を頂きました。

また来年度に向けて、プロムナードコンサートの出演者募集をはじめ、今回から選挙による役員改選の準備等の作業を進めています。来年度は今までの役員の約半分を交代して、会員の皆様のご協力を頂きながら、また新体制で更に充実した京都支部活動を推進して参りたいと願っています。

連絡先：大須賀留美子（13 期 声）　TEL ＆ FAX 075-983-0940
E: メール：ohsuga@iris.eonet.ne.jp

支部長　山田晏子 (10 期声)

奈良支部

前回の会報の報告より、第 16 回の定期演奏会に向けての準備に支部役員全精力を向けてかかっております。今回はアンサンブルを中心にしたコンサートということで、4 組の参加で開催出来ることとなりました、どうか多数の皆様のご来場お待ちしております。

2015 年 2 月 10 日月曜日 18：30 ～　真声会奈良支部第 15 回定期演奏会
なら de クラシック　ビバ！アンサンブル

場所：秋篠音楽堂（近鉄西大寺駅下車 3 分ならファミリー 6F）入場料 2000 円
出演　小山佳子（２０期 Vn）、半田ひろ美（４５期 Vc）、袴田さやか（３３期 Vn）、矢野めぐみ（５９期 Hr）伊藤千尋 (4 年在学 Tp)、長谷川鈴夏 (2 年在学 Tp) 仁科美咲（５９期 Tb）松田顕史 (５７期 Tuba) 菊田義典（４２期声）岩渕葵（55 期）、菊池敏子（17 期）宮崎友香子（38 期 P）谷川秀美（39 期 P）玉井幸子（２８期 P）、山口納慧（２８期 Vn）、他
プログラム　ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲 Op.96「アメリカ」
エルガー：エニグマ変奏曲 Op.36 よりニムロッド
エワルド：金管 5 重奏曲第 2 番 Op.6
ブラームス：愛の歌 Op.52
ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲 Op.97「大公」より

あと、8 月 22 日金曜日にスタジオかまぼこにて音出し会を行いました。今回は五味さんが帰国中で参加いただき、大変楽しい会となりました。もし奈良支部の活動にご興味等ございましたら、真声会奈良支部事務局　E-mail shinseikai_nara_shibu_info@yahoo.co.jp までお気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

支部長　菊田義典（42 期声）

関東支部

去る 9 月 20 日（土）、杉並公会堂・小ホールにて第 19 回定期演奏会が開催されました。木彫のステージと深く温かい響きを持つベーゼンドルファーが印象的なこのホールで、10 組 14 名が出演、入場者 103 名。お客様の温かい拍手と、多くの先輩、同窓生また出演者のご家族の協力を得て和やかに催されました。プログラムは・・・熊谷房子（1 期声）が若々しいシューマン「ミルテの花」としっとり語る「歌をください」、奥田章子（32 期 P）は感性豊かで繊細なシューベルトの即興曲、島津与外次（5 期声）はお得意の「禁じられた音楽」と「グラナダ」を熱唱、高橋知子（32 期 P）はルーマニアの民族性を感じさせるリパッティの「左手のためのソナチネ」エネスコの「サラバンド」を好演、今回初登場の小早川玲子（39 期 Vn）が同じく初出演の奥田千春（29 期 P）の伴奏でベリオの「バレエの情景」を華やかに演奏、神代稔子（31 期 P）は深みのある音でブラームスの「6 つの小品」から 3 曲を、堤幸子（31 期声）は「ます」、歌劇「ドン・ジョバンニ」のアリアを細川裕美子（23 期 P）の軽やかな伴奏に乗って美しいドイツ語で歌い上げ、元木いずみ（32 期 P）はテクニカルなバラキレフの「イスラメイ」に挑戦、成島いずみ（32 期声）と文野真理（32 期声）によるパーセルのチャーミングなデュエット、そして最後は安定感のある丸山慶子（30 期 P）の演奏でドビュッシーの柔らかな「月の光」と歓喜溢れる「喜びの島」。いつものように多彩なプログラムでした。（文中敬称略）入会したばかりの泉萌子さん（58〈院 26〉期）が駆けつけてくれたことも喜びでした。終演後、恒例のミニ同窓会が開かれイタリアンをいただきながら乾杯、歓談しました。

Facebook 上に開設された「京都市立芸術大学のなかま」のおかげで関東支部にとどまらず全国の同窓生たちの交流が広がり、近頃はあちこちでミニ同窓会も開かれている様子です。先輩方が築いてくださった温かな雰囲気の支部活動に、こうした広がりを生かしながら、支え続けてくださっている会員のみなさんにとっても新たに上京してくる若い同窓生の皆さんにとっても魅力的で前向きな真声会関東支部にするにはどうすればいいか、20 周年を前に模索の日々が続いています。

副支部長　曽我尚江（27 期 P）

中部支部

６月１２日（木）、名古屋市の HITOMI HALL にて中部支部設立 5 年目にして 「音に集う会　Vol . 1 ～ベートーヴェンの夕べ～」を無事開催することができましたことをここにご報告させていただきます。

一時は大きな壁が立ちはだかり、どうなるかと不安でいっぱいでしたが、遠方より多くの皆様にご来場いただけたこと、出演者の並々ならぬご協力の下、実行委員一丸となり準備に携わったこと等々、周りの方々に支えられての第一回目として記念すべき演奏会となりました。皆々様に心よりお礼申し上げます。地元、中日新聞に掲載されたことも京都芸大の存在感を大きくアピールできましたが、日頃の地道な広報活動があってこそ動員力につながることも実感しました。立ち上げから開催まで 1 年もなく無我夢中でしたが、今後は 2 回、3 回と繋げるためにも会員の皆様にご意見を賜りながら、また反省点を活かしながら演奏会実行委員会で話し合って進めてまいります。

支部主催の演奏会の他に、ドイツ滞在から 2 年前に帰国された野村友紀（50 期 Vc）さんのチェロリサイタル、今夏帰国された平野佳恵（51 期・院 19 声）さんのデュオリサイタル、アメリカより一時帰国の大久保理紗（57 期・院 25P）さんのピアノリサイタル、ジョイントコンサートなど若い方々の活躍ぶりもめざましく、大変よい刺激を頂きました。

念願のホームページ (http://shinseikai-chubu.sakura.ne.jp) を開設致しました。立ち上がったばかりのため話題は多くありませんが、支部会報でも情報提供を呼びかけますので、演奏会、HP を柱として大いに活用していただいて、会員同士の交流の場になればと思っています。支部会員の皆様の声をお待ちしていますのでよろしくお願い致します。

中部支部 連絡先
〒 500-8173 岐阜市田生越町 1 － 6
Tel&Fax: 058-263-6763 ／ e-mail: yuripy@ruby.ocn.ne.jp　中島百合子（支部長） 宛て

支部長　中島百合子（19 期声楽）

大阪支部　http://senri-music.com/shinseikai-osaka/

6月22日、今年も南森町のモーツアルト・サロンをお借りして、コンサートと講演会、そして総会・懇親会を開きました。一般も含めて約40名が参加。前半の若手によるコンサートは、今春卒業されたばかりの阪口楓さんの歌、ピアノは同期の平本直規さん（大学院在）、ピアノ独奏は宮﨑真理子さん（52期）、フルート本庄ちひろさん・ピアノ西岡仁美さん（共に51期）、それぞれ生気あふれる演奏に暖かい拍手が贈られました。後半は大先輩の松本真理子さん（15期）をお招きして「音楽は社会に貢献していますか？」の講演会。マリンバ奏者としてはもちろんのこと、地域での重要かつ多彩な活動を続けておられる松本さんのお話は、「京芸はとても優秀で、いろんなところで大活躍している、なのにどうして挨拶できないの？」との苦言から始まりました。「挨拶は社会の扉をたたくこと。まずきちんと挨拶のできる人でなければならない。そして、信念を持った自分の音楽がなければ社会の中で潰されてしまう」と。熱意にあふれる体験を通しての松本さんのお話は心に響く貴重なものでした。場所を移して向かいの喫茶店へ。先ほどの出演者、講演者を囲んで和やかに懇親、総会議事へと進みました。全体をマーネージしてくださった大冨栄里子さんは、「盛り沢山な一日、未来に向かって羽ばたこうとしている若い同窓生の演奏に触れ、大ベテランのたどってこられた人生の貴重なお話に耳を傾ける。自分の腕を常に磨きながら、心を尽くして人と関わり調和していく中で生まれる音楽は、きっと社会に貢献し得るものとなるという確信。世代の縦軸を繋げて、お互いの理解を深めていけるこのような交流の機会を、これからも続けていきたいものです」と。

◆総会で承認された事項（抜粋）

① 2013年度活動＝▽支部報98～100号を発行▽第10回記念「ブリリアント・コンサート2013」（9.29いずみホール）開催▽世話役会（5回、事務局会議共）▽コンサート実行委員会（年度内5回）▽後援名義使用（年度内承認）14件

② 2014,15年度大阪支部世話役と役割分担（○印は主担者）＝支部長：大村益雄(1.作)、副支部長,○広報：金森重裕(6.cl)、副支部長,○コンサート企画・運営：大冨栄里子(28.pf)、事務局長：樋口博行(27.pf)、会計：雪原典子(25.pf)、監査：竹内惠子(5.vn)・飯田真基(17.vn)、コンサート企画・運営：大西多惠(10.声)・柴田千恵子(18.声)・森池日佐子(18.声)・小﨑恵理子(30.vn)・松村佳奈(31.pf)・宮北昌子(31.pf)・平本直規(59.pf)、○事業企画：中島慈子(10.声)・中林節子(12.声)・康瑛(31.声)・信多仁子(32.pf)・阪口楓(59.声)、庶務・広報：西川香代(45.cl)・宮﨑真理子(52.pf)、広報：西岡仁美(51.pf)・本庄ちひろ(51.fl)・住本紗恵(51.声)

◆お問い合わせ・入会は、大阪支部事務局　545-0004 大阪市阿倍野区文の里4の12の25　樋口博行方
電話とファクス 06-6624-3425　　副支部長・広報担当　金森重裕(6期cl)

滋賀支部

１１月２２日（土）１８：００より浜大津・滋賀銀行本店２Ｆにありますしがぎんホールにて、第２６回演奏会「湖のしらべ」を開催致しました。出演者の皆様をお知らせ致します。
大村夢さんのピアノで、シューマン：ピアノソナタ第２番。森下智稔さんのトランペットで、ネルーダ：トランペットと弦楽の為の協奏曲。相澤頌子さんのフルートで、ダマーズ：演奏会用ソナタ。松田みゆきさん千夏さん姉妹のピアノ連弾で、モシュコフスキ：スペイン舞曲。奥村夏海さんと浅川いずみさん（賛助）のマリンバ・ビブラフォンで、武満徹：クロス・ハッチ、コッペル：トッカータ。上田明美さんのピアノで、シューベルト：さすらい人幻想曲。というバラエティに富んだプログラムでした。演奏会の最後には支部恒例の出演者全員による合奏がありました。滋賀県出身の現役生にも声楽で加わっていただき、「アナと雪の女王」を演奏しました。在学生も真声会会員ですので、支部とのかかわりということで良い取り組みだったと思います。

支部長　杉中　博(19期Tp)

真声会会員のコンクール等受賞者

◆第 23 回 Rina Sala Gallo 国際ピアノコンクール
第 3 位
木下　敦子（ピアノ　平成 22 年卒業）

◆松方ホール音楽賞
ピアノ部門　奨励賞
西岡　沙樹（ピアノ　4 回生）
藤川　有樹（ピアノ　4 回生）
水本　明莉（ピアノ　平成 25 年中退）

◆第 14 回 ノーヴィ国際音楽コンクール
声楽部門　第 2 位（※第 1 位なし）
乃村　八千代（声楽　平成 21 年修士修了）
虫本　友（声楽　平成 24 年修士修了）

◆第 8 回 全日本芸術コンクール　関西本選
ピアノの部
第 1 位　**塩田（櫟原）　藍**（ピアノ　平成 22 年修士修了）
第 3 位　**池田　菫**（ピアノ　2 回生）

◆第 41 回 Palma d'Oro 杯国際音楽コンクール
ピアノの部　第 2 位
岩井　理沙（ピアノ　平成 20 年卒業）

◆第 19 回 高槻音楽コンクール
一般の部　本選
第 1 位　**堀江　恵太**（ヴァイオリン　4 回生）
第 2 位　**本　智敬**（声楽　修士 1 回生）
奨励賞　**大塚　真弓**（声楽　平成 25 年修士修了）
和田　悠花（声楽　4 回生）
池田　菫（ピアノ　2 回生）

◆第 35 回 草津夏期国際音楽アカデミー＆フェスティヴァル
スチューデントコンサート音楽監督賞
刀田　大生（クラリネット　4 回生）

◆第 31 回 日本管打楽器コンクール
マリンバ部門
第 1 位　**沓野　勢津子**（マリンバ　平成 19 年卒業）
第 2 位　**中田　麦**（マリンバ　平成 22 年中退）

◆第 20 回 熊楠の里音楽コンクール
ヴァイオリン部門　F クラス（大学・一般）
第 1 位　**中山　智子**（ヴァイオリン　4 回生）
第 2 位　**池田　沙弥**（ヴァイオリン　3 回生）
第 3 位　**冨家　聖香**（ヴァイオリン　3 回生）

◆第 10 回 堺国際ピアノコンクール
一般部門　奨励賞
二階堂　孝之（ピアノ　3 回生）

◆第 4 回 アンドレア・バルディ国際ピアノコンクール
最年長部門　第 1 位
生田　智子（ピアノ　平成 24 年卒業）

◆第 26 回 宝塚ベガ音楽コンクール
ピアノ部門
第 1 位　**山下　諒**（ピアノ　修士 2 回生）
第 2 位　**三浦　祐香**（ピアノ　平成 25 年修士修了）
入選　**鳶　真佑子**（ピアノ　平成 25 年修士修了）
平本　直規（ピアノ　修士 1 回生）
宮崎　真理子（ピアノ　平成 24 年修士修了）
木管部門
入選　**植原　祥子**（オーボエ　平成 26 年卒業）

◆第 6 回 岐阜国際音楽祭コンクール
声楽部門　一般Ⅰ　第 1 位
加藤　裕子（声楽　平成 26 年修士修了）

◆日本音楽知覚認知学会
論文賞（6 名による共著）
饗庭　絵里子（音楽学　平成 21 年博士修了　音楽学領域）
田中　里弥（音楽学　平成 21 年博士修了　音楽学領域）

◆第 7 回エレーナ・リヒテル国際ピアノコンクール
大学・一般部門　第 2 位
井本　理絵（ピアノ　2 回生）

◆ Castel Ritaldi 国際コンクール
第 4 位
中嶋　弥生（弦楽・ヴァイオリン　平成 25 年修士修了）

◆第 6 回 神戸芸術センター記念ピアノコンクール
審査員賞　**宮崎　真理子**（ピアノ　平成 24 年修士修了）
感動賞　**泉　麻衣子**（ピアノ　博士 3 回生）
招聘証受賞　**深井　千聡**（ピアノ　平成 19 年修士修了）
山下　諒（ピアノ　修士 2 回生）

◆第 12 回 若き音楽家達のための国際コンクール "Luigi Zanuccoli"
ピアノ・ソリスト部門　最年長分野　第 1 位（審査員全員満点）
岩井　理沙（ピアノ　平成 20 年卒業）

◆第 13 回 滋賀県新人演奏会
ピアノ部門　優秀賞
大村　夢（ピアノ　修士 1 回生）

◆第 19 回 Petar Konjovic 国際音楽コンクール
ピアノ部門　第 3 位
渋谷　有佐（ピアノ　平成 23 年卒業）

◆モーツァルト国際ピアノコンクール
第1位
中村　太紀（ピアノ　平成24年卒業）

◆第19回 びわ湖フルートコンクール
入選・武者小路千家賞
大谷　加奈（フルート　平成22年卒業）

◆第51回 なにわ芸術祭音楽コンクール
新進音楽家競演会　器楽の部　新人奨励賞
櫟原　藍（ピアノ　平成22年修士修了）

◆第5回 アントニオ・サリエリ国際音楽コンクール
ピアノ部門　第3位（第1，2位なし）
田原　希美（ピアノ　平成21年卒業）

◆第8回 東京芸術センター記念ピアノコンクール
入選
藤川　有樹（ピアノ　4回生）

◆第34回 来音会コンクール
奨励賞　来音会賞
川﨑　さやか（ピアノ　2回生）

◆第16回 万里の長城杯国際コンクール
アンサンブル部門　第2位（1位なし）
久貝　ひかり（弦楽・ヴァイオリン　修士3回生）
一樂　恒（チェロ　平成26年卒業）
藤川　有樹（ピアノ　4回生）

◆第23回 ＡＢＣ新人音楽賞
宮﨑　真理子（ピアノ　平成24年修士修了）

京芸だより

～定期演奏会を聴きにいらしてください～

京都市立芸術大学音楽学部・大学院音楽研究科では、第147回定期演奏会を開催します。

今回は、本学客員教授の秋山和慶氏を指揮者に迎え、W.A.モーツァルト「ミサ曲 ハ長調『戴冠ミサ』K.317」、P.クラツォウ「マリンバと弦楽オーケストラのための協奏曲」、H.ベルリオーズ「幻想交響曲」を演奏します。荘厳なミサ曲、技巧的な協奏曲、そして大規模編成の交響曲。秋山氏円熟のタクトの下、京都芸大の総力を挙げた演奏会が始まります。開演前には、秋山氏と本学指揮専攻教授 増井信貴によるプレトークも行われます。皆様、是非ご来聴下さい。

京都市立芸術大学第147回定期演奏会

日時：2014年12月12日(金)午後7時開演(午後6時開場)
会場：京都コンサートホール（大ホール）
曲目：W.A.モーツァルト／ミサ曲 ハ長調『戴冠ミサ』K.317
　　P.クラツォウ／マリンバと弦楽オーケストラのための協奏曲
　　H.ベルリオーズ／幻想交響曲
指揮：秋山 和慶（京都市立芸術大学客員教授）
独奏：ソプラノ　松﨑　絵美（京都市立芸術大学修士課程声楽専攻2回生）
　　アルト　糀谷栄里子（京都市立芸術大学修士課程声楽専攻1回生）
　　テノール　蔦谷　明夫（京都市立芸術大学修士課程声楽専攻2回生）
　　バリトン　本　智敬（京都市立芸術大学修士課程声楽専攻1回生）
　　マリンバ　藤田　もも（京都市立芸術大学 音楽学部 管・打楽専攻4回生）
演奏：京都市立芸術大学音楽学部・大学院管弦楽団／京都市立芸術大学音楽学部合唱団
入場料：1200円(全席自由)
お問い合わせ：京都市立芸術大学企画広報課　０７５－３３４－２２２４
チケット発売：京都コンサートホール　０７５－７１１－３０９０

真声会会員の皆様は会員証の提示により無料でご入場いただけます。
会場受付にて卒業・修了期、専攻、お名前をお知らせ下さい。

真声会後援の演奏会

♪アフター・アワーズ・セッション　東欧への憧れ vol. 3
日時：2014 年 9 月 11 日（木）19：00
会場：島之内協会（日本キリスト教団）
出演：右近恭子（25 期 Pf）、日比浩一（29 期 Vc）、松原央樹（29 期 Cl）ほか
曲目：ドホナーニ：六重奏曲 Op. 37
ドップラー：リギの思い出 Op. 38
ドヴォルザーク：４つのロマンティックな小品 Op. 75　ほか

♪真声会関東支部第 19 回定期演奏会
日時：2014 年 9 月 20 日（土）13：30
会場：杉並公会堂・小ホール
出演：奥田章子（32 期 Pf）、奥田千春（31 期 Pf）、神代稔子（31 期 Pf）、熊谷房子（1 期 Vo）、小早川玲子（39 期 Vn）、島津与外次（5 期 Vo）、曽我尚江（27 期 Pf）、高橋知子（32 期 Pf）、堤幸子（31 期 Vo）、坪井フミ子（8 期 Vo）、成島いずみ（30 期 Vo）、文野真理（30 期 Vo）、細川裕美子（23 期 Pf）、丸山慶子（30 期 Pf）、元木いずみ（32 期 Pf）ほか
曲目：シューマン：あなたは花のように、君にささぐ
シューベルト：即興曲　Op. 142 より第 1、２番
ドビュッシー：月の光、喜びの島　ほか

♪朱雀真由子フルートリサイタル
日時：2014 年 10 月 4 日（土）17：00
会場：青山音楽記念館（バロックザール）
出演：朱雀真由子（53 期 Fl）、笹まり恵（54 期 Pf）
曲目：プロコフィエフ：フルートソナタニ長調　Op. 94
デュティーユ：フルートとピアノの為のソナチネ
タファネル：ミニヨンの主題によるグランドファンタジー　ほか

♪大江浩志・岩崎宇紀　デュオコンサート
日時：2014 年 10 月 19 日（日）14：00
会場：ムラマツリサイタルホール新大阪
出演：大江浩志（27 期 Fl）、岩崎宇紀（27 期 Pf）
曲目：尾高惇忠：ある夏の日の幻想（2003）
一柳慧：忘れえぬ記憶の中に（2000）
三善晃：アン・ヴェール（1980）ほか

♪仲嶋ひろピアノコンサート
日時：2014 年 10 月 25 日（土）14：00
会場：学園前ホール
出演：仲嶋ひろ（18 期 Pf）
曲目：モーツァルト：ロンドイ短調　K.511
ドビュッシー：「前奏曲集」第 1 集より
亜麻色の髪の乙女・沈める寺
ショパン：スケルツォ第３番　嬰ハ短調　Op. 39　ほか

♪池田みゆき　フルートコンサート
日時：2014 年 11 月 1 日（土）17：30
会場：横浜市港南区民センター「ひまわりの郷」
出演：池田みゆき（31 期 Fl）ほか
曲目：ヴィラロボス：ブラジル風バッハ　第５番アリア
クレンジャンス：２つのアリア
ピアソラ：タンゴの歴史　ほか

♪ファウエムを飾ったヴィルテュオーゾたち
名曲オータム・コンサート
日時：2014 年 11 月 11 日（火）18：30
会場：兵庫県芸術文化センター・小ホール
出演：榎水枝（25 期 Vo）、船橋美穂（25 期 Pf）ほか
曲目：木下牧子：「重いのはなあに？」「ほのかにひとつ」　ほか

♪京都市立芸術大学クラリネット専攻卒業生による
Clarinettes Parfait vol.10
日時：2014 年 11 月 15 日（土）14：00
会場：京都府民ホールアルティ
出演：鬼頭典子（40 期 Cl）、福井聡（37 期 Cl）、徳田香南（54 期 Cl）、吉田聖子（47 期 Cl）、山本有紀（34 期 Cl）、永井美香（44 期 Cl）
曲目：ドヴォルザーク：管楽セレナーデ
ホルスト：『惑星』より火星、木星
吹奏楽のための第 1 組曲　ほか

♪三森尚子オルガンリサイタル
～ J.S. バッハと彼をめぐる人々Ⅳ～
日時：2014 年 11 月 23 日（日）16：00
会場：神戸松蔭女子学院大学チャペル
出演：三森尚子（26 期 Pf）
曲目：J.S. バッハ：パストラーレ　ヘ長調　BWV590
ピエス・ドルグ　ト長調　BWV572
前奏曲とフーガ　ホ長調　BWV548　ほか

♪ネイヴホームコンサート『室内楽とソロの調べ』
日時：2014 年 11 月 24 日（月・祝）15：00
会場：音楽空間ネイヴ
出演：岩井亜紀子（53 期 Pf）ほか
曲目：J.S. バッハ：トッカータハ短調 BWV911
ベートーヴェン：ロマンス第 1 番　ト長調
シューマン：ヴァイオリンソナタ　第 1 番　イ短調　ほか

♪トリオ・リベラ　vol.3
日時：2014 年 11 月 29 日（土）14：00
会場：堀江アルテ
出演：松原央樹（29 期 Cl）ほか
曲目：モーツァルト：ディヴェルティメント第 2 番 K. Anh.229
モーツァルト：フィガロの結婚より
J.S. バッハ：15 のシンフォニアより　ほか

♪ヴァイオリン、ヴィオラ、ピアノの奏でる
ミュージアムコンサート vol.13
日時：2014年11月29日（土）14：30
会場：神戸・世良美術館
出演：尾崎未佳（35期Vn）、武田仁美（34期Pf）ほか
曲目：J.S.バッハ：イタリア協奏曲
ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ第4番　Op. 23
モーツァルト：ケーゲルシュタットトリオ　K. 498　ほか

♪クリスマス協奏曲の夜
日時：2014年12月12日（金）19：00
会場：ノワ・アユルデ音楽アートサロン
出演：河内知子（35期Vn）、稲富友有子（36期Vn）
曲目：コレルリ：クリスマス協奏曲 Op. 6-8
トレルリ：クリスマス協奏曲 Op. 8-6
ルクレール：２つのヴァイオリンの為のソナタ

♪ピアノデュオの魅力 Vol.8「舞踏への誘い～踊り踊れば～」
日時：2014年12月17日（水）19：00
会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
出演：蜂谷葉子（29期Pf）、大岡真紀子（29期Pf）
曲目：チャイコフスキー：「白鳥の湖」Op. 20よりワルツ
チャイコフスキー：「くるみ割り人形」Op. 71a
サン・サーンス：「死の舞踏」Op. 40　ほか

♪アフター・アワーズ・セッション　クリスマスのポプリ
日時：2014年12月24日（水）19：00
会場：ドルチェ・アーティストサロン大阪
出演：右近恭子（25期Pf）、松原央樹（29期Cl）ほか
曲目：プーランク：オーボエ・ファゴット・ピアノのためのトリオ
ニールセン：木管五重奏曲
ミヨー：ルネ王の暖炉　ほか

♪フルート・ファゴット・ピアノによる Trio CONCERT
日時：2014年12月27日（土）19：00
会場：アートスペース Hase　二条城前
出演：朱雀真由子（53期Fl）、桂田菜保子（54期Fg）笹まり恵（54期Pf）
曲目：ラゼッティ：フルート・ファゴット・ピアノのための三重奏曲　Op. 13 No. 2
モルラッキ／トッリアーニ：ヴェルディの主題による協奏的二重奏曲　ほか

♪６つの合唱団ジョイントコンサート「瞬きの結実」
日時：2015年1月31日（土）14：00
会場：いずみホール
出演：松尾卓郎（45期Vo）、平林知子（35期Pf）ほか
曲目：木下牧子：女声合唱組曲「わたしは風」より
ラインベルガー：ミサ イ長調　Op. 126
小田美樹：群青　ほか

♪郷弦楽四重奏団第一回演奏会　～人生～
日時：2015年2月1日（日）13：30
会場：京都市北文化会館創造活動室
出演：江口純子（54期Vn）、朴梨恵（54期Vn）、野村友紀（50期Vc）ほか
曲目：ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第6番変ロ長調 Op. 18-6
スメタナ：弦楽四重奏曲第1番ホ短調「わが生涯より」

♪高木知寿子と仲間たち
日時：2015年2月18日（水）19：00
会場：京都府民ホールアルティ
出演：高木知寿子（27期Pf）ほか
曲目：フランク：ヴァイオリンとピアノの為のソナタ　イ長調
ブラームス：チェロソナタ　第1番ホ短調 Op. 38
高木克美：太極鼓　ほか

♪姉妹都市　キエフ＆京都　友情の一夜　～バレエと音楽～
日時：2015年2月20日（金）19：00
会場：京都市右京ふれあい文化会館
出演：高木知寿子（27期Pf）ほか
曲目：メンデルスゾーン：ピアノトリオ　第1番　第1,4楽章
ドビュッシー：アラベスク No. 1,2
フランク：ヴァイオリンソナタ　第2,4楽章　ほか

♪ Piano solo ＋ Piano Trio Concert
日時：2015年3月21日（土・祝）14：30
会場：アトリエ松田
出演：山下由香（26期Pf）、武地淑江（29期Vc）ほか
曲目：ベートーヴェン：ピアノソナタ Op. 101
ハイドン：ピアノトリオ Hob. XV24
ドヴォルザーク：ピアノトリオ Op. 90「ドゥムキー」 ほか

♪林田明子ソプラノリサイタル
日時：2015年3月27日（金）19：00
会場：青山音楽記念館（バロックザール）
出演：林田明子（37期Vo）、船橋美穂（25期Pf）
曲目：ベルリオーズ：歌曲集「夏の夜」
フォーレ：ヴォカリーゼ
杉山長谷夫：出船　ほか

♪蔀幾世子・水野雅子　ジョイントリサイタル　Vol.3
日時：2015年3月27日（金）19：00
会場：兵庫県芸術文化センター　神戸女学院小ホール
出演：蔀幾世子（30期Pf）、水野雅子（26期Pf）
曲目：モーツァルト：ソナタ　K. 333
グラナドス：スペイン奇想曲
インファンテ：アンダルシア舞曲　ほか

♪山田真由美 ピアノリサイタル
日時：2015 年 3 月 29 日（日）15：00
会場：ザ・フェニックスホール
出演：山田真由美（36 期 Pf）
曲目：シューマン：アラベスクハ長調 Op. 16
　　シューベルト：ピアノソナタ第 13 番 イ長調 Op. 120
　　ショパン：「マズルカ集」より
　　Op. 33-4、Op. 67-2、Op. 68-4、Op. 7-1　ほか

♪バッハ平均律クラヴィーア曲集第 2 巻全曲演奏会 ~24 人 24 色 ~
日時：2015 年 3 月 29 日（日）13：00
会場：京都府民ホールアルティ
出演：京芸ピアノ科出身者及び、阿部裕之、イリーナ・メジューエワ、古川五巳各氏
曲目：バッハ：平均律クラヴィーア曲集第 2 巻全曲

♪ Violin Recital －バッハとバッハから影響を受けた音楽家たち－
日時：2015 年 4 月 5 日（日）14：30
会場：青山音楽記念館（バロックザール）
出演：朴梨恵（54 期 Vn）ほか
曲目：ストラヴィンスキー：ディヴェルティメント
　　J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンの為のバルティータ
　　第 2 番　BWV1004
　　メンデルスゾーン：ヴァイオリンとピアノの為のソナタヘ長調

訃報
謹んでお悔やみ申し上げます

27 期　村野　正男さま
2014 年 10 月　ご逝去

あしあと

今年 6 月以降以下の会議を行ってまいりました。2014 年度役員会には、60 名を超えるご参加をいただき、大きな会合になりました。その後の拡大運営委員会では会則改正に向け、会則素案の準備を行いました。

2014 年 6 月 8 日（日）14:00 ～ 16:00
ザ・パレスサイドホテル
2014 年度役員会
出席者:本部役員、理事、支部長、各年度委員、京都市立芸術大学副理事長、音楽学部学部長（計 61 名）
議題：❶議事真声会の将来ビジョンについて
　❷ 2103 年度会計報告及び監査報告
　❸ 2014 年度予算案の審議
　❹大学の移転について
　❺各支部の活動報告

2014 年 7 月 1 日（火）18:00 ～ 21:00
ザ・パレスサイドホテル
第 27 回拡大運営委員会
出席者：（以下敬称略）大村、大西、金森、杉中、佐藤、朴、奥田、中村典、中村公
議題：❶ 2014 年度役員会のまとめ
　❷「将来ビジョン」の関連について
　❸会報 58 号の発行について

2014 年 8 月 5 日（火）18:00 ～ 21:00
ザ・パレスサイドホテル
第 28 回拡大運営委員会
出席者：大村、大西、松本、佐々木、金森、佐藤、朴、中村典、中村公
議題：❶将来ビジョンについて
　❷会則の改正について
　❸真声会 60 周年記念について
　❹役員選挙について

2014 年 9 月 26 日（火）18:00 ～ 21:00
ザ・パレスサイドホテル
第 29 回拡大運営委員会
出席者：大村、大西、金森、佐藤、朴、中村典、中村公
議題：❶会則の改正について
　❷臨時総会への準備について
　❸将来ビジョンについて

2014 年 10 月 23 日（火）18:00~21:00
ザ・パレスサイドホテル
第 30 回拡大運営委員会
出席者：大村、大西、朴、金森、三井、山本、土居、佐藤、中村公
　南事務局長（芸大）
議題：❶大学より、グッズ販売への寄付のお願い
　❷会則の改正について
　❸臨時総会への準備
　❹選挙管理委員の決定

2014 年 11 月 18 日（火）18:00~21:00
ザ・パレサイドホテル
第 31 回拡大運営委員会
出席者：大村、大西、朴、金森、杉中、山本、土居、樋上、佐藤、中村典、中村公
議題：❶会則の改正について
　❷臨時総会への準備
　❸選挙管理について

編集後記

涙涙？の卒業から早数年が経ちました。先月、同期の友人のリサイタルにお助けマンとして他の同期の友人達と出演しました。学生時代は毎日会うのが当たり前で、合わせも 3,4 時間しゃべりっぱなし。結局、合わせた時間といえばほんの数分。というのんきな毎日だった私も彼女も他の出演者の同期も今はそれぞれの環境で頑張っています。もうさすがにみんな大人だしね…と思いながらの久々の京芸での合わせ。…が、アンサンブルのしょっぱなの不穏な音にたえられず、みんな思わず爆笑。あんた、音楽の都で何学んどんねん！！笑
爆笑の連発の合わせの後、リサイタルは無事終了しました。同期のみんなが本当に音楽に真摯に向き合って努力していて、そんな彼らと久々に共演できたことがとても幸せでした。色々と思い悩んでいたことがふっと消え、久しぶりの合わせなのに、大学時代の日常のまま、とても心地よい時間でした。（S）

真声会　臨時総会のお知らせ

会則改正に伴う、真声会臨時総会を 2015 年 1 月 18 日（日）午後２時から、ウィングス京都セミナー室 A にて開催致します。同封ハガキにて出欠のご連絡及び、欠席される場合は委任状を、12 月 22 日までにお返事いただきますよう、よろしくお願い致します。詳細は、会報の本文、２ページを御覧下さい。

真声会

京都市立芸術大学音楽学部同窓会

Kyoto City University of Arts Alumni Association

発行所

真声会　京都市立芸術大学音楽学部内

〒 610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13 番地の６

TEL：080-6185-4494　FAX：075-334-2345

e-mail：shinsei@kcua.ac.jp

HP：http://www.shinseikai-kcua.net

Facebook：https://www.facebook.com/KCUA.AluminiAssociation.Shinseikai

郵便振替口座　01070-4-16071 真声会